

# がん遺伝子パネル検査用 病理組織検体について

がん遺伝子パネル検査では、病理組織検体が必要となります。検査に適した検体を提出してください。

## 適正な条件

1. 固定液は 10%中性緩衝ホルマリンであること。
2. 検体採取後、速やかに固定液に入れ、固定時間は 6 時間以上 48 時間以内が望ましい。
3. 材料（生検、手術材料）は、FFPE（ホルマリン固定パラフィン包埋）作製後 3 年以内が望ましい。
4. 腫瘍細胞含有率が 20%以上（肝臓の場合 40%以上）の部位であること。  
切片 5 mm × 5 mm 以上の面積を有する条件下での%です。

## 提出いただく検体（①または②のどちらか）

※未染色標本の作製可能な施設では、できるだけ未染色標本で提出ください。

①	<b>FFPE 薄切未染色標本 5 μm 厚 × 20 枚 + HE 染色標本 1 枚</b> <b>★未染色標本薄切の注意点</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・コーティングガラスを使用してください。</li><li>・未染色標本薄切の際は、コンタミネーションの防止につとめてください。</li><li>・未染色標本は、伸展・乾燥のための加熱は避け、室温で乾燥させてください。</li><li>・1 枚のスライドガラスには、1 切片のみ載せてください。 (複数載せると検査受付されません)</li><li>・フロスト部分へ氏名の記載など個人を特定できる情報の記入を避けてください。</li></ul> スライドケースに薄切日の記入をお願いします。 可能であれば、ブロックの貸し出しをお願いします。
②	<b>FFPE ブロック + HE 染色標本 1 枚</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・複数ブロックを送付の場合は、それぞれの HE 標本を提出ください。</li><li>・組織量が少ない場合、返却ブロック内に組織が残らないことがあります。</li></ul>

\*腫瘍細胞含有率が低い場合や組織が小さい場合は、ブロックで提出してください。

\*腫瘍部分の免疫染色を実施されていたら、その標本もあわせて提出ください。

上記内容に不明な点がございましたら、当院地域医療連携室までお問い合わせください。